

「磯子区青少年指導員のご紹介」

磯子区青少年指導員協議会 会長 小川 江一



磯子区青少年指導員協議会は、現在151名(平成29年4月現在)で活動しています。

活動の内容は「県・市一斉行動」以外に「区全体」と「地区・地域」に分かれます。区全体では「いそごこどもまつり」「夏休み作品教室」「紙ヒコーキ大会」「夏休み工場見学会」を主催し「磯子まつり」「区民駅伝」を共催しています。

地区・地域では「ペットボトル・ロケット作り」「ウォークラリー」「スケッチ画教室」等を地区独自に実施し、「祭礼、健民祭」等で各自治会・町内会に協力しています。

磯子区組織の特色は、学域部会と職域部会が存在する事です。小中学校や地域企業との連携を深めるために作られた伝統ある部会で、学校や企業から推薦された方が、独自にイベントを計画・実施し地域に溶け込んでいます。

磯子区は区制90周年事業の一環で『磯子区青少年健全育成指針』を策定しました。それに沿った対応を学校・地域・諸団体と連携して推進してまいります。

「青少年指導員制度50周年を祝して」

磯子区長 小林 正幸



青少年指導員制度が50周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

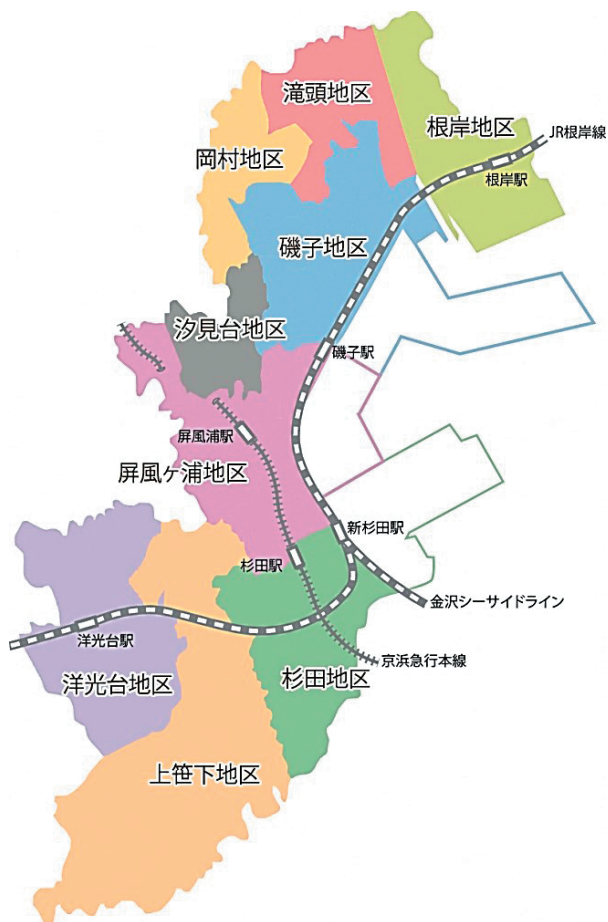
一言に50年と申しましても、この間、青少年を取り巻く社会環境は目まぐるしく変化しています。

そのような状況の中、皆様にはおかれましては、いつの時代も青少年の健全育成を常に考え、活動をしてくださっていることに、深く敬意を表する次第です。

昨年、磯子区は区制90周年を迎えました。磯子区では次の100周年に向け、未来を担う子どもたちを健やかに育む環境づくりを推進していくため、磯子区内に青少年の地域活動拠点を開設いたしました。地域に根付かせていくためにも、地域活動の担い手である皆様のお力が必要であると考えます。

50年の記念すべき時を改めてお祝いするとともに、横浜市青少年指導員連絡協議会並びに磯子区青少年指導員協議会の更なる発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

磯子区各地区位置図

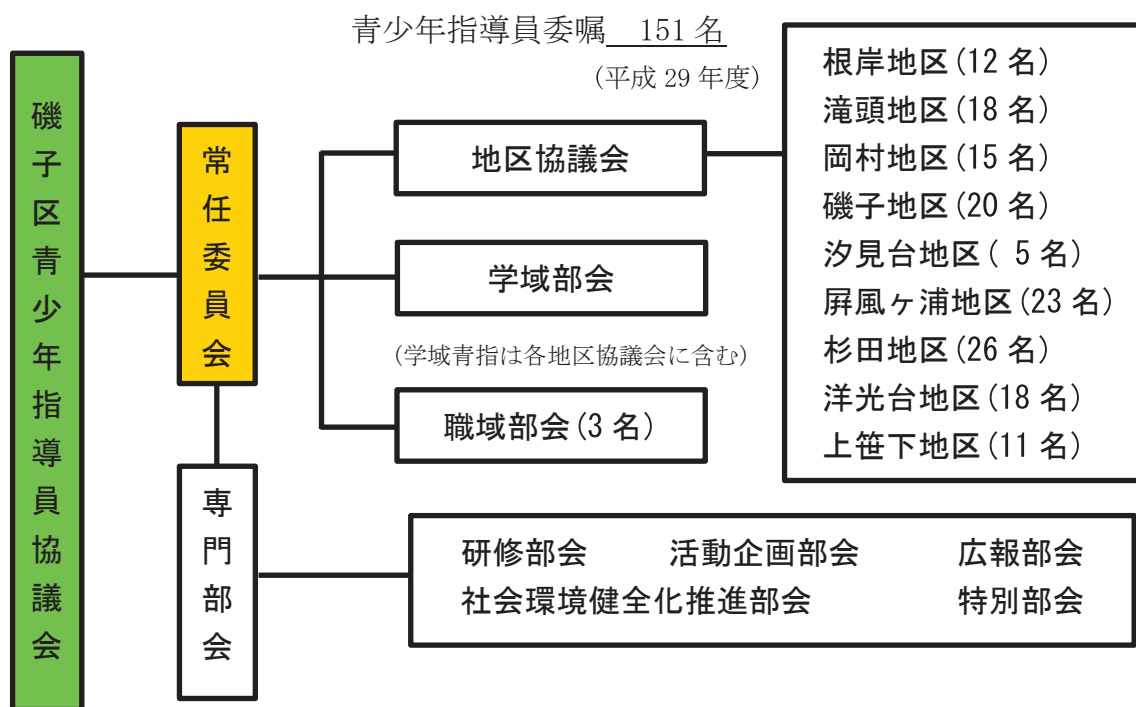


磯子区青少年指導員協議会

年間主要事業

- 5月 青少年指導員協議会総会
- 6月 青少年指導員研修会
- 7月 社会環境実態調査・有害図書
- 7月 全市一斉統一行動パトロール
- 7-8月 夏休み作品教室
- 8月 夏休み工場見学会
- 10月 磯子まつり
- 11月 全市一斉統一行動キャンペーン
- 11月 いそごこどもまつり
- 11月 磯子区民駅伝大会
- 1月 磯子七福神めぐり
- 2月 学習会
- 2月 磯子区紙ヒコーキ大会
- 3月 磯子区青指だより発行

磯子区青少年指導員協議会 組織図



磯子区青少年指導員活動50年の歩み

磯子区青少年指導員(以下:青指と略)協議会は、昭和45年(1970年)の2期目より各区とは異なり青少年育成に関わる諸団体の連携強化のため円卓会議方式により討議実践をしてきました。

昭和49年(1974年)濃密な青少年育成活動を展開し、地区の自主的活動を推進するため、円卓会議方式から地域組織(体育・青少年団体の包括、6地区体制)・職域組織・学域組織に改組して、昭和55年(1980年度)に活動企画部会、研修部会、広報部会を設置しました。

昭和56年(1981年)スケッチ画教室が始まり、現在の夏休み作品教室のもととなり、昭和58年(1983年)青指だより第1号を発刊し、夏休み工場見学会が始まりました。

平成12年(2000年)特別部会が設置され、同年現在の9地区体制となり、現在の区青指協議会の形となって、平成25年(2013年)には紙ヒコーキ大会を復活させました。



青指全員参加型研修会

学域部会と職域部会は磯子区の青指活動の第1期(S43年)から存在し、横浜市では磯子区のみが存在する組織です。

学域部会は学校と地域のパイプ役が主な目的です。所属する学校のPTA役員として地域での青少年指導員の活動をすることで、児童・生徒の地域参加をスムーズにすることができます。学域部会は長い歴史がありますが、近年の携帯電話やスマートフォンの広がり等、新たな社会問題があり、これらにも取り組む使命があります

根岸湾の埋め立てにより臨海工業地帯が出現した時代、区内には独身青年寮や通勤青年が増えました。又、地域の商店・町工場の青年の交流と夢を育てるために、企業や商店・町工場の青年代表を青少年指導員に委嘱して(第I期は10社10名でスタート) 職域部会を設置しました。社会情勢・経済情勢の変化によって職域部会への参加企業が減少しており、課題もあります。現在実施中の事業から5件を写真により紹介します。



工場見学会

磯子まつり・・・

青少年指導員は「まつり」の最大イベントであるパレードの運営・進行を行っています。



夏休み作品教室・・・

夏休みに各地区で実施された作品教室の作品を11月の「いそごこどもまつり」で磯子区役所ロビーに展示しています。



いそごこどもまつり・・・

幼児から大人まで数千名が来場する青指の一大イベントです。

磯子区青指活動事業の変遷(共催、支援事業も含む)

職域部会主催ボウリング大会	昭和45年(1973年)～平成17年(2005年)
磯子七福神めぐり	昭和53年(1978年)～平成21年(2009年) ※区内各地区事業として継続中
スケッチ画教室	昭和56年(1981年)～平成16年(2004年)
洋上セミナー	昭和59年(1984年)～平成16年(2004年)
三団体顕彰の会	昭和59年(1984年)～平成10年(1998年)
ジュニアフェスティバル	昭和62年(1987年)～平成5年(1993年)
いそごこどもフェスタ	平成3年(1991年)～平成15年(2003年)
磯子まつり	昭和52年(1972年)～現在
夏休み工場見学会	昭和58年(1983年)～現在
磯子区青指だより	昭和58年(1983年)～現在
有害図書・自販機調査	昭和61年(1985年)～現在
社会環境実態調査	平成12年(2000年)～現在
全市一斉統一行動パトロール	平成12年(2000年)～現在
全市一斉統一行動キャンペーン	平成12年(2000年)～現在
学習会	平成16年(2004年)～現在
いそごこどもまつり	平成16年(2004年)～現在
夏休み作品教室	平成17年(2005年)～現在
区民駅伝大会	平成21年(2009年)～現在
磯子区紙ヒコーキ大会	平成25年(2013年)～現在

磯子七福神めぐり・・・

現在は各地区事業として実施しています。



全市一斉統一行動

パトロール・・・地区単位で実施しており、概ね問題行動はありません。



「青少年指導員制度50周年を迎えて」

金沢区青少年指導員協議会 会長 小林 利彦



昭和44年に発足した横浜市青少年指導員制度は、平成30年度に50周年を迎えます。平成3年に発行された横浜市青少年指導員20周年記念誌に因りますと、青少年指導員は、少年指導員と社会教育協力委員などが、一緒になってでき、市の連絡協議会は昭和48年3月に発足したそうです。

発足当初は、青少年指導員要綱や活動目標も無く手探り状態だった様で、諸先輩方のご苦勞が目に浮かびます。

当時の金沢区青少年指導員協議会も一部の地域では、スポーツ推進委員やPTA連絡協議会などの団体から推薦された指導員が勤勞青年やジュニアクラブの対応をメインに活躍していました。

現在金沢区では、海の公園や野島青少年研修センターを利用し、青少年健全育成活動を行っています。

50年の節目にあたり、今までの活動を振り返り、経験を活かしながら次世代の子どもたちに対し、横浜市青少年指導員連絡協議会として、各区で共通した健全育成事業を行っていくのが望ましいのではないのでしょうか。

「青少年指導員制度50周年を迎えて」

金沢区長 國原 章弘



このたびは「50周年記念誌」の発刊、心よりお祝い申し上げます。青少年指導員の皆様には、日頃から地域の青少年の健全育成にご協力いただきまして、大変感謝しております。

近年、インターネットやスマートフォンなどの普及により、青少年は間接的に様々な情報に晒される一方、何かを直接的に体験して学びとる機会が少なくなったと感じております。そのような中、皆様が企画するキャンプ「ジュニアサマー金沢」をはじめとした様々な体験活動は、かつて自然や地域社会と関わることで育まれてきた、集団の中でルールを守ること、主体性を持って行動すること、仲間を思いやることなどを青少年が身体を通して学びとる貴重な機会になっていると考えております。金沢区は来年、区制70周年を迎えますが、これからも皆様とともに、未来を担う青少年の健全育成を行ってまいりますので、益々のご尽力を賜りますことをお願いし、お祝いの言葉とさせていただきます。

<金沢区 構成地区図>



各地区の人員構成
(平成29年10月現在) 127人

地区名	人数
富岡第一	6人
富岡第二	5人
富岡第三	5人
富岡西・能見台	2人
能見台	8人
シーサイドタウン	21人
金沢東部	8人
金沢中部	7人
金沢南部	6人
金沢	10人
六浦東	9人
六浦	8人
六浦西	16人
釜利谷	16人

<金沢区青少年指導員協議会 概要>

金沢区青少年指導員協議会は、金沢区14地区の青少年指導員によって構成されています。協議会は、各地区の青少年指導員の活動を円滑にすすめるため、各地区に地区協議会をおき、各地区協議会の会長、協議会役員として会長1名、副会長2名、会計1名を集め、年一回の総会、月一回の役員会を開催しています。また、協議会の活動の運営・協議のために目的に応じた三つの部会を設けています。

- ・行事部会

ジュニアサマー金沢やいきいきフェスタ出店などのイベントを企画します。

- ・広報部会

年二回（3月・9月）発行の広報誌「Youth 21」の編集を行います。

- ・育成部会

スクールゾーンキャンペーンなど見守り活動の啓発に努めています。

以上のような構成をもって、青少年指導員の円滑な活動の実現と、さらなる青少年健全育成のために、日々活動しています。

金沢区青少年指導員協議会 活動紹介

金沢区青少年指導員協議会では、青少年健全育成のために、地域の皆様と協力し様々な活動を行っています。ここでは、主に金沢区青少年指導員協議会が主催している活動と、各地区で実施している活動についてご紹介します。

ジュニアサマー金沢

夏休み中の地域の子どもたちのために、夏の自然を満喫できる宿泊イベントを毎年開催しています。このイベントには、団体行動による自然体験活動を通して、子どもたちに多くのことを経験し学んでもらいたいという私たちの思いが込められています。企画した行事部の方々だけで実施するのではなく、金沢区各地域の青少年指導員の方々のお手伝いや、看護師の方の協力で、毎年盛大に開催されています。平成27年度までは、「ジュニアサマーキャンプ」として山梨県道志村でキャンプを開催していましたが、平成28年度からは、地元金沢区の自然により親しんでもらおうと、開催場所を金沢区に移し、イベント名を「ジュニアサマー金沢」としました。平成29年度開催の「ジュニアサマー金沢」では、金沢区の共催で、会場を横浜市野島青少年研修センターとして以下の様な体験プログラムを提供しました。



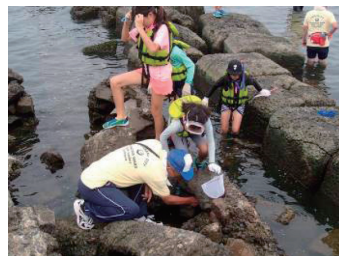
参加した子どもたちと
山田陽治先生

- ・カヌー体験 … 一人乗りのカヌーに乗り、野島水路の水上散歩を楽しみました。
- ・フォトラリー … 野島公園を舞台に、ヒントの写真と同じ公園内の風景を探しながらゴールを目指しました。
- ・漁師体験 … 自分達でペットボトルを使って仕掛けをつくり、魚やカニを捕獲しました。
- ・キャンプファイヤー … 火を囲みながら、各班ごとに企画した出し物を披露しあい、楽しい時間を過ごしました。
- ・磯遊び … 野島海岸の自然海浜内の干潟で生き物観察を行います。今年はNHKの番組などでも活躍されている、自然体験教育コーディネーターの山田陽治先生による特別授業も行われました。

大変好評をいただいたので、平成30年度以降も、野島青少年研修センターを会場として毎年開催していきたいと考えています。



カヌー体験



磯遊び



山田陽治先生
特別授業

スクールゾーンキャンペーン

金沢区の小学校と連携して、地域の子どもたちへの見守り活動を啓発する「スクールゾーンキャンペーン」を実施しています。このキャンペーンは、地域・家庭・学校が一体となって青少年を見守る機運を高め、活動の実行につなげていくことを目的としています。

毎年、金沢区の小学校の一つに開催を依頼し、その小学校の先生方やPTAの方々と連携して、小学校の学区(スクールゾーン)を歩きます。途中、通学路に面する家庭のポストにチラシを投函したり、行き会った方々にチラシを配るなどしています。

今後も、こうした活動を通じて、小学校のスクールゾーン周辺の住民の方々に、子どもたちの安全を温かい目で見守ってくださるよう「見守り活動」の周知・啓発・協力依頼を行って参ります。



平成28年 釜利谷東小学校
出発式の様子



スクールゾーンをPTAの
皆さんと歩きます

地区イベントの開催・協力

そのほか、金沢区各地区で、青少年健全育成イベントの開催や、地域のイベントへの協力を行っています。また、毎年10月に開催される「金沢まつり いきいきフェスタ」では、青少年指導員のコーナーを出展し、青少年指導員の活動をアピールすると共に、子どもたちが楽しめる工作コーナーなどを催しています。



みかん狩り



じゃがいも掘り



地域見学会



いきいきフェスタの出展



ペンシルバルーンコーナー



折り紙コーナー